

科目名	地域金融機関経営論特講	担当者	シナト 階戸 テルオ 照雄	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>地域金融機関経営論の目的は、実際の経済行動・企業行動の中で地域金融機関の経営がなされている状況をイメージできるようになることにある。教材は具体的な事例と理論との橋渡しをしているので、実際に業務に従事した経験を有する専門家がまとめた資料を参考図書にあげた。課題作成に当たり、更に踏み込んだ具体的知識の修得を必要とする場合に活用していただきたい。</p>		
到達目標	<p>1. ビジネスにおける共通言語の一つである経営戦略論に関し、幅広く基本的な考え方を理解する。経営戦略論には多くの理論があり、一見それらの理論を学ぶだけでマスターできたように思えるが、実際の社会の中での実践できることが重要である。いつの場合も、概念的な理論をビジネスの具体的な事例に基づき考えるようにしてほしい。</p> <p>2. 基本図書の十分な理解は前提となるものの、当初理解が困難なときには、比較的平易な参考図書（『MBA 経営戦略入門』）を利用することにより、経営理論等の理解を早期に図ること。</p>		
学修方法	<p>1. 地域金融に関する広範な知識を基礎・応用と広く習得する。このため、これまでの自らの経験だけではなく、理論面での知識の習得に努める。</p> <p>2. 基本書、できれば参考図書の十分な理解・修得は当然のこととして、これら教材以外の資料等をインターネット等も利用して、積極的に求めることが望ましい。</p>		
スケジュール	<p>1. 何度かのレポートを交換することで、修士論文を書く際に必要となる基礎的な事項を修得することができる。そのためには、レポートを極力早い時期より提出することが望まれる。</p> <p>2. 標準的なスケジュールとして、第1回目のレポートの草稿については、遅くとも最終提出期限1か月前を目安にすること。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材内容を十分理解・修得し、レポートが作成されているかを基準とする。
	平常評価	20%	草稿段階から最終稿までのプロセスを含む取組みを評価基準とする。
履修者への要望	<p>地域金融機関に特化した特別プログラムは下記の4科目なので、あわせて履修されることが推奨される。</p> <p>地域経済論，中小企業論，協同組織金融論，地域金融機関経営論（本論）</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	(1) 著者名： グロービス・マネジメント・インスティテュート 教材名： 『MBA経営戦略』（ダイヤモンド社，1999年） ISBN:978-4-47-837243-2 2,800円+税 (2) 著者名： 堀江康熙編 教材名： 『地域金融と企業の再生』（中央経済社，2005年） ISBN:978-4-50-237910-9 3,000円+税 前期は、まず経営論の中核となる経営戦略論の主要なフレームワークの理解を行うことを目指す。教材(1)で基本的な概念を習得したうえで、教材(2)では地域金融機関の経営論の概観を正しく理解できるようにしたい。
参考図書	内田学『MBA経営戦略入門』（ダイヤモンド社，2005年） ISBN:978-4-47-837459-7 1,800円+税 清田匡『中小企業金融をどう理解するか』（創風社，2006年） ISBN:978-4-88-352116-6 2,800円+税
履修上のポイント	1. ビジネスにおける共通言語の一つである経営戦略論に関し、幅広く基本的な考え方を理解する。経営戦略論には多くの理論があり、一見それらの理論を学ぶだけでマスターできたように思えるが、実際の社会の中での実践できることが重要である。いつの場合も、概念的な理論をビジネスの具体的な事例に基づき考えるようにしてほしい。 2. 基本図書の十分な理解は前提となるものの、当初理解が困難などときには、比較的平易な参考図書（『MBA経営戦略入門』）を利用することにより、経営理論等の理解を早期に図ること。 3. 地域金融に関する広範な知識の習得に努める。このため、これまでの自らの経験だけではなく、理論面での知識の習得に努めること。
レポート課題 1	教材(1)で使用するテキストの経営戦略の理論を使って、地域金融機関経営を分析し、論述すること。なお、使用する理論の規定は特にはないものとする。 留意点 ：地域金融機関の具体例を必ず1社・行以上、論述の中に含めること。
レポート課題 2	地域における地域金融機関の金融面の役割とは何か、を論述すること。 留意点 ：金融面の役割はできるだけ広範囲に、事例を交えて、論述することが望ましい。

基本教材 2	
教材の概要	(1) 著者名： 堀江康熙 教材名： 『地域金融機関の経営行動』（勁草書房，2008年） ISBN:978-4-32-650310-0 3,800円+税 (2) 著者名： 岩佐代市編 教材名： 『地域金融システムの分析』（中央経済社，2011年） ISBN:978-4-50-266760-2 2,800円+税 (1)これは、地域金融機関の経営活動について、2000年以来的の変化の特徴と背景、および今後の方向を明らかにすることを目的にしている。 (2)この教材では、地域の疲労した経済状況を踏まえ、これを再生・活性化する上で金融システムがいかなる貢献をなし得るのかを主題としたものである。
参考図書	住谷宏編 信用金庫双書シリーズ『地域金融機関のサービス・マーケティング』（近代セールス社，2006年）ISBN:978-4-76-500943-0 2,900円+税 全国信用金庫協会編 信用金庫双書シリーズ『中小企業のライフサイクルと地域金融機関の役割』（近代セールス社，2010年）ISBN:978-4-76-501053-5 3,000円+税
履修上のポイント	地域金融機関経営論の目的は、実際の経済行動・企業行動の中で地域金融機関の経営がなされている状況をイメージできるようにすることにある。教材は具体的な事例と理論との橋渡しをしているので、実際に業務に従事した経験を有する専門家がまとめた資料を参考図書にあげた。課題作成に当たり、更に踏み込んだ具体的知識の修得を必要とする場合に活用していただきたい。
レポート課題 1	教材(1)で使用するテキストの経営戦略の理論を使って、地域金融機関経営を分析し、論述すること。なお、使用する理論の規定は特にはないものとする。 留意点 ：地域金融機関の具体例を必ず1社・行以上、論述の中に含めること。
レポート課題 2	地域における地域金融機関の金融面の役割とは何か、を論述すること。 留意点 ：金融面の役割はできるだけ広範囲に、事例を交えて、論述することが望ましい。